

## 大地震が発生してから

2015年4月25日に発生した大地震によって、ネパールに暮らす人々、子どもたちの生活は急激に変わりました。チャイルド・ファンド・ジャパンは、地震直後から緊急支援を開始。緊急支援物資の配布から着手し、仮設住宅の資材の配布、チャイルド・センタード・スペースの運営や仮設教室の建設、災害リスク削減と子どものケアについてのトレーニングなど、子どもを守るための様々な活動を行ってきました。緊急・復興支援にご協力くださった皆さまに、改めてお礼申し上げます。



## そして、これから

大地震から1年が経ちました。1年は、ひとつの区切りではあるものの、これからも続く復興の道のりの通過点に過ぎません。被災した子どもたちは、もっとも厳しい最初の1年を経験し、乗り越えました。地震直後に子どもたちが見ていた未来と比べて、いま、子どもたちに見える未来が、より明るいものであることを願っています。

2016年4月より、被害の大きかった地域で、子どもたちの成長を長期的に支えるスポンサーシップ・プログラムを開始しました。また、学校の建設や、家屋の再建などの支援も行います。地震によって子どもたちの未来が閉ざされてしまうことがないように、チャイルド・ファンド・ジャパンは引き続き、活動を続けます。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、被災した人びと、子どもたちの生活を着実に変えていくために、復興支援を継続します。これからもネパールの子どものたちを守るための活動にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

**ChildFund**  
Japan

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン  
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5

TEL:03-3399-8123 FAX:03-3399-0730  
E-mail:childfund@childfund.or.jp  
URL:http://www.childfund.or.jp

すべての子どもに開かれた未来を

# ネパール大地震 緊急・復興支援報告書

2015年4月25日、ネパールで大地震が発生し、広い地域にわたって甚大な被害をもたらしました。チャイルド・ファンド・ジャパンは、翌日26日に緊急支援の実施を決定し、その後、継続的な復興支援を行ってきました。これまでに取り組んできた支援活動について、ご報告します。

(報告期間:2015年4月~2016年3月)

**ChildFund**  
Japan





# ネパール大地震から、1年。これまでに実施した支援活動をご報告します。



2015年4月

## 2015年4月25日11時56分。 ネパール大地震発生

首都カトマンズ北西を震源とする、マグニチュード7.8の大地震が発生。死者は9,000人近くにのぼり、60万棟以上の家屋が倒壊しました。



5月

## 緊急支援開始

チャイルド・ファンド・ジャパンは、5月1日からシンドゥパルチョーク郡で緊急支援物資の配布を開始。約3,200世帯に、米や豆、塩などを届け、仮設住宅の資材となる防水シートやグラウンドシートを配布しました。



10月

## 衛生キットの配布

災害後、清潔、尊厳を保つための必需品として、「思春期の女の子のための衛生キット」を2つの郡の12校、844名の女子生徒に届けました。衛生キットには、懐中電灯、石けん、歯ブラシ、布製生理用ナプキンなどが入っています。



11月

## 活動報告会

11月28日、東京で震災支援の活動報告会を開催。ネパール事務所長の田中真理子と、現地で緊急支援プロジェクトのチームリーダーとして活動するアイリーン・サンチアゴが、これまでの活動状況を報告しました。



6月

## 子どもたちへの支援開始

子どもたちの学びと遊びの権利を守る場、チャイルド・センタード・スペースの活動をシンドゥパルチョーク郡、ラメチャップ郡で開始。休校になった学校の代わりとして、子どもたちのこころのケアにつながる遊びやプログラムを実施しました。



7月

## 仮設教室の建設

地震により、ネパール全土で25,000以上の教室が崩壊し、10,000以上の教室が修復の必要な状態となりました。2つの郡の32校で、60棟の仮設教室の建設を支援し、約2,400名の子どもたちが勉強できる場所を確保しました。



12月

## 中間評価と子どもへの聞き取り

チャイルド・ファンド・アライアンスのメンバーも加わった評価チームで、地震発生以降の支援の振り返りを行いました。また、支援の拡充に向けて、現地の子どもたちに聞き取りを実施しました。



2016年1月

## 冬対策

冬の厳しい寒さから子どもたちを守るため、仮設教室の壁や床、天井に防寒対策を施しました。また、約5,100人の子どもたちにセーターを配りました。



8月

## 学用品の配布

「バック・トゥ・スクール(学校に戻ろう)キャンペーン」を開始。2つの郡の45校の子どもたちに、通学用のリュック、ノート、ペンなどの学用品セットを届けました。



9月

## トイレ・水道の整備

学校敷地内に、水飲み場やトイレの設置・修繕を実施。シンドゥパルチョーク郡の支援学校4校で、トイレ(男女別の個室計10部屋)と、11校の飲料設備の修繕を行いました。



2月

## 研修

支援地域の学校の教師、地域行政や地域のリーダーを対象に、子どもの保護、災害リスク削減とこころのケアについて学ぶ研修を行いました。



3月

## 支援の拡充に向けて

2016年4月から、スポンサーシップ・プログラムを含む支援を開始するために、パートナー団体とネパール事務所が最終準備を進めました。